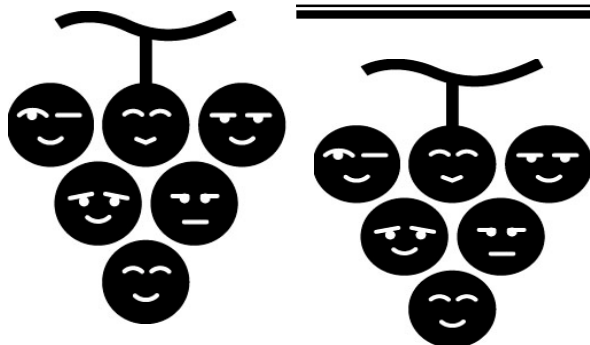


組合活動啓発のため、組合員以外の皆様にもお届けしています。



教育学部職員組合機関紙

マスカット

2014年度 第1号 (2014.7.14 発行)

1. 2014年度委員長・書記長あいさつ

田中 智生 (執行委員長)

本年度、教育学部単組の委員長に選出された田中です。「田中」だけで特定できるようになったのは、26年目で初めてです。

先日連合体の定期大会に初めて出席し、改めて驚いたことが二つあります。一つは、連合体の執行委員に教育学部の教員が多い。組合員数も附属学園単組と合わせると、法文経単組を上回ってトップです。二つ目は、連合体の会計も逼迫している。教育学部の会計も昨年度末の組合員大量退職により、このままではいずれ危機を迎える状況ですが、連合体は、このままだと、7年後に危機を迎える状況です。(繰越金の減少による推定)

そこで、まずは教育学部の組合員の増強が急務です。折しも60分授業クォーター制が具体性を持って検討されています。仕事環境が大きく変わろうとしているのです。働きやすい職場づくりに貢献するためにもより多くの方の意見を反映していくべき時です。また、入って良かったという実感の半分は、文化レク活動ではないかと思えます。田中と言えば、日本酒と連想する方もいらっしゃるのではないかと思います。そういう企画と合わせて、仲間と語り合える機会を設けていきますので、皆様のご支援よろしくお願ひします。

熊谷 慎之輔 (書記長)

このたび、書記長を務めさせて頂くことになりました熊谷 (教育学講座) です。

唐突ですが、アメリカのソーシャル・キャピタル (社会関係資本) 研究の知見によると、「教師相互の信頼関係は、生徒の学力に正の影響を及ぼす」ことが報告されています。とすれば、われわれ教職員同士の「人間関係のつながり (ソーシャル・キャピタル)」を豊かにすることが、大学生の学力に正の影響を及ぼし、ひいては教授の合格率アップにつながるかもしれません。

そのためにも、組合では、将来を見据えた活動とともに、教職員同士のつながりを深める取り組みを企画・実施していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

2. 2014年度 岡山大学職員組合定期大会の報告 (松枝睦美先生より)

2014年6月18日 (水)、一般教育棟A32教室において、岡山大学職員組合 (連合体) 定期大会が開催されました。連合体執行部より2013年度活動経過報告、同年度決算報告/特別会計報告、2014年度活動方針案、同年度予算案について説明され、すべての案件が拍手を持って承認されました。大学の自治の担い手としての学長選への取り組み、労働条件の改善としての臨時給与削減の終了や職員宿舎縮小計画の見直し、ハラスメント問題の規定の改善等が成果として挙げられました。一方で高齢層職員の昇給抑制、非常勤職員 (有期雇用職員) の労働契約・条件の改善について、寄せられた意見を基に懇談会を開催すること等が継続課題として示されました。組合員の拡大に向けた広報と補助の取り組みの一端、人権部・法律相談所「ユニオン」での相談などの活動の成果について報告されました。

また、この日をもって、住野好久先生は副委員長の任を降りることとなりました。執行委員長に引き続き、教職員のためにさまざまな場面でご尽力をいただき、感謝しております。本当にありがとうございました。そして、2014年度より山口健二先生が、副委員長として連合体の活動に取り組んでいただることになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

3. 中四国教研集会の参加報告（赤木里香子先生より）

5月31日（土）、6月1日（日）の二日間にわたり、岡山大学文化科学系総合研究棟2階共同研究室にて「大学の主体性・自律性」とは何かをテーマに、第25回中国四国地区教職員研究集会が開催されました。中四国の国立大学法人の教職員から、各大学の現状やリアルタイムで生じている問題への取り組みについて13件の報告が寄せられました。

私は副委員長の住野先生と一日目の司会を担当し、報告に先立って講演された伊藤圭一氏（全国労働組合総連合 調査局長）のお話をかぶりつきで拝聴しました。賃金問題全般について豊富な資料で多角的に教えていただき、大変勉強になりました。先進諸国のなかで日本だけ、物価動向を考慮しても賃金の下落傾向が続いているという事実を知り、日本人って本当に忍耐強いなあと妙に感心するとともに、資料にある「最低生計費」の試算結果一覧を、もはや他人事ではないと見直してしまいました。

非正規雇用が主流になり、いっぽうで正規雇用者に対する賃金ダンピングが起きるという構図が、大学にも当てはめられつつあることが危惧されます。自尊心を持った研究者であり続けるには、民間の労働者としての自覚を持つことも必要な時代となったようです。大学において労使が自治の担い手となり、対等に Win-Win の関係を築くことの重要性（と、その難しさ）を、各大学からの報告によっても再認識させられました。これからの大学を魅力ある職場にしていきたいものです。

4. 2014 年度執行委員自己紹介

高瀬 淳（会計担当）

執行委員として会計を担当することになりました。田中委員長、熊谷書記長の下で、スムーズで有意義な組合活動が実現できるよう努めたいと思います。これからの1年間、よろしく願いいたします。

岡崎 善弘（文化・レク担当）

この度、執行委員として文化・レクリエーション担当となりました。皆様にとって有意義な交流の場となるよう、1つ1つのイベントを丁寧に準備していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

津島 愛子（文化・レク担当）

この度、文化・レクリエーション担当となりました。レクリエーション活動などを通して皆様が楽しく交流を深める場の提供ができればと思っております。至らない点多々あると思っておりますが、どうぞよろしくお願い致します。

宮本 浩治（広報担当）

この度、広報を担当することになりました。広報担当として、組合員の皆様方に有用な情報をお伝えすることが出来ればと思っておりますが、はじめての仕事ですので、慣れないことばかりです。ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、どうぞよろしくお願い致します。

5. 教職員レクリエーション「ビアパーティ」開催のお知らせ

窓の外を眺めると、雨……。来る日も来る日も雨……。外は雨でも、心は晴れ模様。きっと皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日々の活動の疲れを癒すとともに、今後の研究・教育活動に向けての英気を養うべく、昨年に引き続き、下記のとおり、今年も暑気払いを企画いたしました。皆さまの交流の場としても、この会をご活用いただけると幸いです。

皆さま、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。交流を通じて、晴れ晴れとした気持ちになっていただきたい、これが執行委員一同の願いです。

記

日時：8月8日（金）19:00～（学部オープンキャンパスの開催日です）

場所：はぎ 錦町（岡山市北区錦町3-8）

会費：組合員 2,000 円 非組合員 4,000 円

主催：教育学部職員組合

ご参加くださる方は、お手数ですが別に配布した申込書を懇話室：津島のところまでお願いいたします。